

## 「生きる力と豊かな人づくりを目指す」

～公民館発！礼に始まり礼に終わる。子ども達の感動体験6日間～

古賀市・庄帰宅自治会・庄南区自治会  
『寺子屋 in 庄』実行委員 林 良子

### 1. 古賀市及び庄北区・庄南区の概況

古賀市は自然環境に恵まれ、朝日の昇る東には緑豊かな犬鳴山が連なり、夕日の沈む西には白砂青松の海岸が続き、その山と海とに守られるように豊かな水田と私たちの住む町や工業団地が広がっている。

また、市にはJR鹿児島本線の3駅や国道3号線、九州自動車道古賀インターチェンジなどがあり、福岡都市圏にも近接しており交通や情報アクセスに大変恵まれた環境にある。

古賀市は約59,000人が生活する中、市の重点施策の一つとして将来を見つめ教育環境の充実を図り、小学校8校、中学校3校、公立高校2校、看護大学1校と恵まれた環境で青少年が学べる住み良い町である。

私たちの住む庄北区・庄南区地域は市の中心に位置し、市役所・福祉施設等の公共機関や、国道3号線・九州自動車道古賀インターに隣接し生活に便利な地域で住民の満足度も高レベルである。

今我が町住民の関心事は、平成25年3月に谷山地区遺跡群の発掘調査で発見された古墳時代後期（6世紀後半～7世紀初め）の遺跡『船原古墳遺物埋納坑』である。多くの遺物が発見され、なかでも「金剛製歩揺付飾金具」は、国宝が多数出土した奈良県の藤の木古墳級と高く評価され、多くの考古学者の注目を集めている。

### 2. 寺子屋開塾の動機

福岡県の事業として古賀市が推進し、他校区は学校施設を使っでの「寺子屋開塾」を計画・実施しているが、庄北区・庄南区が位置する古賀東小学校校区は範囲も広く、

①古賀東小学校に開設し全校区児童を対象にするには無理があること。

②庄北区・庄南区の児童数が古賀東小児童全体の45%近くを占めていること。

③庄北区・庄南区公民館は公民館が同一建物で室内が広く使え寺子屋開設に適していること。等を理由に、市役所担当部署及び古賀東小学校より要請があったこと、さらに地域の児童保護者からの希望も多く、関係者と協議し実施することとなる。

### 3. 目的

自主学习や異学年グループでの体験活動の中で相互の助け合いや思いやり、自立心を身につけながら、生活習慣、社会規範意識や公共のマナーの大切さを学ぶ場を作り出すこと。

- ① 指導方針⇒「体験」を重視・集団の中での活動重視・遊びや運動を重視・時には厳しく指導
- ② 目指す子ども象⇒ 体力とがまん強さを持つ子ども・発表力、発言力のある子ども  
約束や決まりを守る子ども・思いやりや協力する心をもつ子ども

#### 4. 取り組み経過

2007年より2013年まで、7年間連続で実施することができた。

その間、古賀市、古賀東小学校、地元有志の熱心な指導・支援を受け、内容も充実し参加児童も年々増加している。

- ◆第1回 2007年(8月 6日～8月11日・6日間) 36名
- ◆第2回 2008年(8月 4日～9月 9日・6日間) 49名
- ◆第3回 2009年(8月 4日～9月 9日・6日間) 48名
- ◆第4回 2010年(8月 3日～8月 9日・6日間) 50名
- ◆第5回 2011年(8月 2日～8月 7日・6日間) 51名
- ◆第6回 2012年(8月 1日～8月 6日・6日間) 57名
- ◆第7回 2013年(7月29日～8月 2日・5日間) 62名

(※2013年は、地域夏まつり開催と日程調整のため5日間で実施)

#### 5. 実施内容

- (1)開催期日: 夏休み期間中、8月初旬の6日間(月～土曜日)
- (2)場 所: 庄北区・庄南区公民館の2階ホールを中心(同一建物)、近隣施設
- (3)時 間: 8:30 ～ 12:30
- (4)運営組織: 『寺子屋 in 庄実行委員会』を編成し、活動内容・役割分担等を協議  
(組織) 塾長/実行委員会/事務局/自治会役員/地元有志/保護者有志/チーム竹取り
- (5)一日の流れ: 【朝の会】 出席確認点呼/朝の朗唱「雨にも負けず」  
【座 学】 前半60分 夏休みの宿題/プリント学習 等  
【体 験】 後半90分 科学実験/物づくり/施設見学 等  
【掃 除】 ホール、玄関、トイレ  
【帰の会】 1日のまとめ(寺子屋ノート記入)、帰りの朗唱

※7～8名の班編成により、高学年の児童が低学年の面倒をよく見ている。最終日は、班別に成果をまとめた発表、塾長より一人一人に終了証書の授与、保護者を交えた昼食会を実施。

#### 6. 課題と展望

##### (1)今後の課題

- ① 運営主体が保護者、地元有志の素人集団なので、より専門知識を持った市職員や小学校教諭等積極的な指導・支援体制の確立を願う。
- ② 寺子屋での子ども達の活動の様子を、もっと保護者・家族の方々にみていただきたい。また、時間に余裕のある保護者の方、地域の方に寺子屋運営に携わってもらえるような環境づくり。

##### (2)将来展望

- ① 関係者一同さらに研鑽を重ねて、さらなる内容充実に努めるとともに、夏休みだけでなくプラスアルファの開催を考えたい。

- ② 庄地区は元々1つの区であったが、世帯数が増え現在の庄北区・庄南区に分かれた。  
しかし、公民館は、幸い同一敷地に建設されており、1階は両区に分離されているが2階は中間の間仕切りを開くと広いスペース(約90坪)があり、子ども達が大勢集まって活動しても十分なスペースがあるのでもっともっと活用方法を考えたい。
- ③ 子どもたちの寺子屋運営にも刺激され、平成24年4月より、地元大人の有志により「勉強会・庄南みらい塾」が発足し毎月開催されている。  
その内容は、社会学習・誕生月会員の祝い、及び会員相互の交流等で運営され、近い将来「寺子屋 in 庄」との交流も模索されている。

## 7. 『寺子屋 in 庄』と参加児童家族との情報交換

ご家族の皆さんの児童に対する子育て方針や、希望する人間像及び地域に対する期待・要望等を把握し寺子屋運営に生かすため、塾長より毎回参加児童保護者に対し、色々な形でレポートの提出をお願いしている。また、皆さんが日頃考えている事を、文字(言葉)にすることにより、子育てを振り返るよい機会にもなるのではと考えている。

さらに、提出された内容をまとめて冊子にし、各参加児童家庭や自治会役員等にお返す事により他の家庭の考え方や子育て方法等について参考にしていただいたり、地域住民との関わり方についても考えてもらうよい資料となっている。

### ■事例Ⅰ(2009年)『保護者・関係者からの真心いっぱいのお手紙集』

提出された作文はどれも素晴らしく感動するものばかりで、ご家族の皆さんが子どもさんをいかに大切に思い将来を楽しみにされているかがよく伺えます。

また、5年先10年先、子どもさんが読んだ時、改めて親の愛・家族の温もりを感じることもできる、素敵なお手紙集になっている。

### ■事例Ⅱ(2013年)『寺子屋 in 庄2013参加児童ご家族の子育て語録』

主な質問項目としては、

- ① お子さんをどのような人間に成長してほしいですか？
- ② 日々、なにを大事にしてどのような育て方をしていますか？
- ③ 子育ての中で地域に期待することはありますか？
- ④ 最近、家族やお子さんのことで嬉しかったこと褒めてやりたい出来事は何ですか？
- ⑤ 子育てや家族のことでちょっとだけ悩んでいることがありますか？ 他

## 8. 終わりに

問合せ先 : 〒811-3103 古賀市中央二丁目 13 番 1  
古賀市教育委員会 生涯学習推進課 公民館係 (担当: 岩熊)  
電話: 092-944-1931 FAX: 092-944-1933